

抑制効果について第2報。

今回からの新たな試みである英語セッションポスター発表の最優秀賞は京都大学大学院

・小田実紀氏の「Rain

communication about recycled water: How do people realize and agree using recycled water?」。

宏明委員長は加茂氏の発表について「トイレトーパー溶解実験や模擬下水道管を用いた流動実験で興味を持っていただくことは下水道の持続につながる

もの」、小田氏の発表については「野菜や果物を栽培するために市民理解に関するリスクコミュニケーションを分かりやすく伝えた」と講評した。

最優秀賞は北九州市

・加茂華子氏の「体験型学習を取り入れた下水道教育について(小学校訪問授業の実施)」、優秀賞は北海道

講評に立った同発表会企画運営委員会の田中

加茂氏は「楽しく学べる体験型学習を念頭に置いた。頭ではわかっていいる事象も、目で見て手を動かすことで改めて実感できるもの」、小田氏は「広告代理店が消費者に伝えるモデルを応用し、工学系と文系の両方の視点から技術PRを行った」とそれぞれ受賞のコメントを述べた。

大学大学院・菊地凱氏の「β-グルクロニダーゼを用いた新規簡易大腸菌数測定法の開発」および日鉄鋳業・戸嶋達郎氏の「汚水圧送管路への鉄含有硝酸塩添加による硫化水素

会企画運営委員会の田中

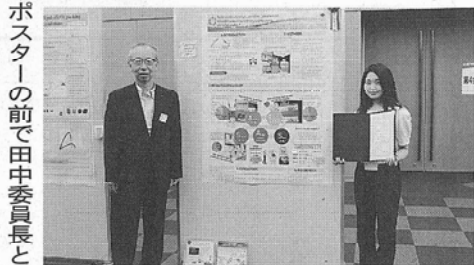
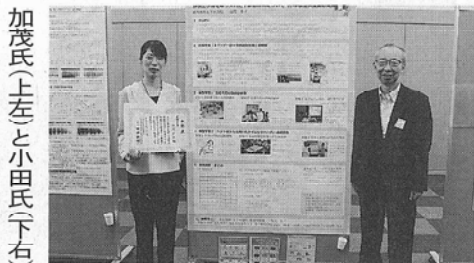
加茂氏は「楽しく学べる体験型学習を念頭に置いた。頭ではわかっていいる事象も、目で見て手を動かすことで改めて実感できるもの」、小田氏は「広告代理店が消費者に伝えるモデルを応用し、工学系と文系の両方の視点から技術PRを行った」とそれぞれ受賞のコメントを述べた。

加茂氏は「楽しく学べる体験型学習を念頭に置いた。頭ではわかっていいる事象も、目で見て手を動かすことで改めて実感できるもの」、小田氏は「広告代理店が消費者に伝えるモデルを応用し、工学系と文系の両方の視点から技術PRを行った」とそれぞれ受賞のコメントを述べた。

第55回下水道研究発表会のポスターセッション表彰式が、7月26日に北九州市内の西日本総合展示場AIMビルで行われた。

## 加茂氏(北九州市)に栄冠

研究ポスターセッション 体験型学習で発表



加茂氏(上左)と小田氏(下右)。ポスターの前で田中委員長と